

# 農作物生育・技術情報7号

日高農業改良普及センター日高西部支所  
JAびらとり JA門別町

## 1 水稻生育状況 中苗ななつぼし

### ●生育状況調査

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	莖数 (本/㎡)	遅速 日数	備考 ※( )は平年比
R3年	99.3	10.6	569	早8	出穂揃 7/29 (早7日) 糊黄化率2% (平年0%)
平年値	92.4	10.7	523		
差	+6.9	-0.1	+46		

### (1) 登熟後半の水管理

8月10日以降、気温は一転して低めに推移しています。そのため刈り取りは9月早々を予想していましたが、当初の見込みより3日程度遅くなりそうです。

すでに落水しているほ場もありますが、土壌が乾燥しすぎると登熟不良の原因になります。収穫の10日前頃までは、土壌表面を極端に乾燥させないようにお願いします(水田の適正な水分は、土壌表面に小さな亀裂ができ少し足跡が付く程度)。

### (2) 成熟期予測(出穂後積算気温930℃到達日)※8/17時点

出穂:7月22日⇒ 成熟期:9月5日 ⇒ 収穫の目安:9月8日頃

7月24日⇒ 成熟期:9月7日 ⇒ 収穫の目安:9月10日頃

7月26日⇒ 成熟期:9月9日 ⇒ 収穫の目安:9月12日頃

## 2 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2~5段果房収穫中</li> <li>・高温による花落ち、葉焼け、軟果、日焼け果、尻腐れ果が見られ、小玉傾向となっている。</li> <li>・灰色かび病、うどんこ病、かいよう病、アザミウマ類、ハモグリバエ類、ヨウムシ類、ハダニ類の発生が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な換気に努め、古葉や内側の葉を中心に摘葉する。</li> <li>・夜間の呼吸による消耗を防ぐため、下葉の摘葉を行う。</li> </ul>
きゅうり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整枝、誘引、収穫作業中</li> <li>・主莖が18節程まで伸長し生育は順調である。</li> <li>・8月12日から共選開始。</li> <li>・アザミウマ類、アブラムシ類、うどんこ病の発生が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害は予防を中心に防除を行い、害虫が発生した場合は早期防除に努める。</li> <li>・ハウス内外の除草を徹底する。</li> <li>・主莖の摘芯や側枝の整枝は、一気にすると樹勢が衰えるので注意する。</li> </ul>
ハウス軟白ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月定植収穫中。</li> <li>・高温による葉焼け等の品質低下が見られる。</li> <li>・黒斑病、アザミウマ類、ハモグリバエ類、葉先枯れ症状が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草は害虫の発生源になりやすいのでハウス内外の除草を行う。</li> <li>・収穫、調製後は品温を上げないように管理する。</li> </ul>
アスパラガス(ハウス立茎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・灰色かび病、斑点病の発生が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウス内外の除草を徹底する。</li> <li>・斑点病は定期的に防除を行う。</li> </ul>

※日高管内でネギアザミウマに対する合成ピレスロイド系薬剤の抵抗性が確認されました。今後は合成ピレスロイド系薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行いましょう。

### 3 畑 作

●豆類 病害虫防除時期です。ほ場をよく観察し発生が確認されたら直ちに防除しましょう。

(1) 大 豆

〈マメシンクイガの防除〉

防 除 時 期	備 考
2回目 ⇒ 1回目の散布から7～10日後	8/20～25頃

※ 病害虫防除は、令和2年度 農作物病害虫防除ガイドにより適正な薬剤使用を行う。

(2) 小 豆

〈菌核病、灰色かび病防除〉

防 除 時 期	備 考
1回目 ⇒ 開花最盛期 (7/下～8/中ころ)	アズキノメイガと同時防除を実施する
2回目 ⇒ 1回目の散布から7～10日後	

※ 病害虫防除は、令和2年度 農作物病害虫防除ガイドにより適正な薬剤使用を行う。

(3) てんさい

褐斑病

すでに初発が見られております。気温が高くなると急激に蔓延する可能性がありますので、引き続きローテーション防除に務めましょう。

※防除薬剤は糖業からの技術資料を参照

### 4 畜 産

●牧草生育状況 (8月15日現在)

作物名	生育状況			遅速日数	備考
	項目	R3年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	51.9cm	72.4cm	(-13)	小雨による生育停滞とチモシー消失が見られる。

- ①草地の植生を観察し、牧草割合が低い場合は来年度草地更新を検討しましょう。
- ②牧草のは種は、越冬時の生育確保のため8月末日までに終えましょう。
- ③オーチャードは、8月下旬に施肥があると耐凍性の高い分けつが促進され、越冬性が高まります。

●サイレージ用とうもろこし生育状況 (8月15日現在)

作物名	生育状況			生育期節	遅速日数	備考
	項目	R3年	平 年			
サイレージ用 とうもろこし	葉数 稈長	18.7枚 281.0cm	18.2枚 280.9cm	絹糸抽出 100%	早7	日照時間が多く、気温が高いことから登熟が進んでいる。

- ①登熟が進んでいます。  
平年値(乳熟期:8/28、糊熟期:9/9、黄熟期:9/24)  
雄穂抽出期:本年7/29(平年値8/1) 絹糸抽出期:本年7/30(平年値:8/3)
- ②登熟度合に留意し、早めの収穫準備をしましょう。

### 5 農薬の安全使用

散布作業は暑い日中を避け、朝夕の涼しい時を選び、一人で長時間の連続・散布作業はしないで下さい。ドリフトにも十分注意しましょう。

